

# 今月のNHKEテレ「ハートネットTV」

NHKEテレ「ハートネットTV」(後8・0)は、「シリーズ戦後70年」で、6月に三つのテーマを取り上げます。第1回「障害者はどう生きてきたか」、第2回「高齢者」とどう向き合ってきたか」に続くものです。

第3回は「家なき子たちの戦後」戦争孤児から虐待まで(2日)。戦後作られた戦争孤児のための「児童養護施設」はその後、家庭を失ったり、非行や不登校、虐待の問題を抱える子どもたちを受け入れてきました。どうしたら子どもの利益を最優先にした児童福祉に立ち返れるのかを考えます。

## 児童養護施設・精神障害者・ハンセン病 「シリーズ戦後70年」 三つのテーマで



戦争孤児たち

容の歴史と課題を見つめ未来へのヒントを探ります。

第4回は「精神障害者の戦後」病院か地域か(3日)。日本では1年以上長期入院している精神障害者が20万人に上ります。背景には、患者の人権より治安を重視し、精神障害者を「隔離収容」してきた戦後の歴史

があります。精神障害者もそうでない人も、どうしたらともに地域で暮らせるのか考えます。第5回は「ハンセン病の戦後」人間回復への道(4日)。ハンセン病の患者は戦前から強制隔離政策によって、全国の療養所に収容され、結婚強制されるなど人権侵害にさらされてきました。患者による国家賠償訴訟で国の隔離政策が断罪されたのは2001年のことです。隔離収容の歴史と課題を見つめ未来へのヒントを探ります。